

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	513 施設整備事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	02	清掃費
		目	03	し尿処理費
基本 施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する	細目	102	し尿処理及び施設維持管理経費
		細目	02	施設整備事業
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード	100600	担当者 氏名	森永 典生
	名称	伊賀市浄化センター		連絡先

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	第1・第2処理施設の設備機器	※対象件数
成果(どうする)	設備機器を計画的に点検し、補修工事を行い安全で適正な運転管理を行う。	
根拠法令・要綱等	伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成16年11月1日条例第152号)	
開始年度	平成 59 年度	関連事業
終了年度	平成 未定 年度	
H22 事業 内容	第1・第2処理場定期整備工事	
社会情勢 の変化等	老朽施設に伴い早期の設備更新が必要不可欠である。なお、平成23年度から第1処理場の管理を民間に委託している。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	し尿処理施設
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
工事件数(処理場定期整備工事)	目標	10	6			
	実績	10	8	3	3	
工事件数(処理場施設改修工事)	目標					1
	実績					

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
各設備機器の正常な運転更新をする。	第1・第2処理場の計画的な設備更新をする。	第1・第2処理場の計画的な設備更新をする。	千円	目標	156,000	目標	100,000
				実績	104,141	実績	146,082
各設備機器の正常な運転	第1処理場の施設改修をする。	第1処理場の施設改修をする。	千円	目標		目標	100,000
				実績		実績	

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
A の 財 源 内 訳	国庫支出金	104,141	146,082	100,000	200,000
	県支出金		46,139		
	地方債				
	その他	55,780	50,861	47,519	45,000
	一般財源	48,361	49,082	52,481	155,000
事業投入人件費(B)		0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600
フルコスト(A)+(B)		107,741	149,882	103,600	203,600

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	計画的な点検整備を行った。第1処理場の管理運営を民間に委託した。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 第1処理場を民間委託する業者との業務内容・委託料等の協議を行った。職員の見直し等の検討を行った。第1処理場の宿直は廃止した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	西 實
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 老朽している処理施設の延命を図るため、計画的に施設・設備の更新を行う。
現時点における課題、その他	定期整備工事を継続的に実施することによって、安定した運転管理を行っている。特に、第1処理場の焼却施設が老朽している。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	定期整備個所の点検・選定を行い、的確な施設・設備整備を行うことにより、安定した運転管理を行う。老朽している第1処理場焼却施設の改修を行う。